《記載例》　「失業認定申告書」には、正確にありのまま記入してください。正しく申告しないと不正受給となります。　働いた場合、カレンダーに４時間以上は〇印、４時間未満は×印を付けてください。

様式第 14 号（第 22 条関係）（第 1 面）

失業認定申告書

（必ず第２面の注意書きをよく読んでから記入してください。）

※ 帳票種別　11203

1 失業の認定を受けようとする期間中に、就職、就労又は内職・手伝いをしましたか。

ア　した（就職又は就労をした日は〇印、内職又は手伝いをした日は×印を右のカレンダーに記入してください。）

イ　しない

9 月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10 月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2 内職又は手伝いをして収入を得た人は、収入のあった日、その額（何日分か）などを記入してください。

収入のあった日	収入額	何日分の収入か
10 月 13 日	6，000 円	2 日分
月		
月		

４時間未満の就労（×印を付けた日）で収入があった場合は、その収入金額を申告する必要があります。

3 失業の認定を受けようとする期間中に、求職活動をしましたか。

求職活動は、２回以上必要です。

ア　求職活動をした

(1) 求職活動をどのような方法で行いましたか。

求職活動の方法	活動日	利用した機関の名称	求職活動の内容
（ア）公共職業安定所又は地方運輸局による職業相談、職業紹介等	9/25	ハローワーク新発田	職業相談
	10/8	ハローワーク新発田	職業相談
（イ）職業紹介事業者による職業相談、職業紹介等			
（ウ）派遣元事業主による派遣就業相談等			
（エ）公的機関等による職業相談、職業紹介等	10/12	新潟労働局	再就職支援セミナー受講

求職活動実績が不足している場合は、基本手当が支給されません。

(2) (1)の求職活動以外で、事業所の求人に応募したことがある場合には、下欄に記載してください。

事業所名、部署	応募日	応募方法	職種	応募したきっかけ	応募の結果
（株）□□産業 （電話番号　0254-00-0000　）	10/1	面接	事務	（ア）知人の紹介 （イ）新聞広告 （ウ）就職情報誌 （エ）インターネット （オ）その他	条件合わず辞退
（電話番号　　）					

ハローワーク等での求職活動以外で、求人に応募した場合、応募した事業所名（電話番号含む）等を詳細に記入してください。

イ　求職活動をしなかった　（その理由を具体的に記載してください。）

4 今、公共職業安定所又は地方運輸局から自分に適した仕事が紹介されれば、すぐに応じられますか。

ア　応じられる

イ　応じられない

イに〇印をした人は、すぐに応じられない理由を第２面の注意の８の中から選んで、その記号を〇で囲んでください。

（ア）　（イ）　（ウ）　（エ）　（オ）

5 就職もしくは自営した人又はその予定のある人が記入してください。

ア　就職　（１）公共職業安定所又は地方運輸局紹介　（２）地方公共団体又は職業紹介事業者紹介　（３）自己就職　　月　日より就職（予定）

イ　自営　　月　日より自営業開始（予定）

（就職先事業所）
事業所名（　　）
所在地（〒　　）
電話番号（　　）

雇用保険法施行規則第２２条第１項の規定により上記のとおり申告します。

令和 〇 年 10 月 16 日
（この申告書を提出する日）

公共職業安定所長
地方運輸局長　殿

受給資格者氏名　〇〇　〇〇

支給番号（00-000000-0）

※公共職業安定所又は地方運輸局記載欄

1. 支給番号		2. 未支給区分（空欄 1 未支給以外 未支給）	3. 待期満了年月日　年　月　日
4. 支給期間（初日）年　月　日～（末日）月　日		5. 内職又は手伝いによる収入（労働日数）日（収入額）円	6. 基本手当支給日数　日
7. 就業手当支給日数　日	8. 就業手当に相当する特別給付支給日数　日	9. 就職年月日－経路	年　月　日－

次回認定日・時間	認定対象期間	月　日～　月　日	※連絡事項	
10 月 16 日	備考		取扱者印	操作者印

《就職申告の場合》　就職が決まったときは、原則として、就職日の前日にハローワークに来所のうえ、失業の認定を受けてください。詳しくは、「受給資格者のしおり」２４ページをご覧ください。

様式第 14 号（第 22 条関係）（第 1 面）

失業認定申告書

（必ず第２面の注意書きをよく読んでから記入してください。）

※ 帳票種別　11203

1 失業の認定を受けようとする期間中に、就職、就労又は内職・手伝いをしましたか。	ア　した（就職又は就労をした日は○印、内職又は手伝いをした日は×印を右のカレンダーに記入してください。） イ　しない	月	1	2	3	4	5	6	7	月	1	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13	14		8	9	10	11	12	13	14
			15	16	17	18	19	20	21		15	16	17	18	19	20	21
			22	23	24	25	26	27	28		22	23	24	25	26	27	28
			29	30	31						29	30	31				

2 内職又は手伝いをして収入を得た人は、収入のあった日、その額（何日分か）などを記入してください。	収入のあった日　月　日	収入額　円	何日分の収入か　日分
	収入のあった日　月　日	収入額　円	何日分の収入か　日分
	収入のあった日　月　日	収入額　円	何日分の収入か　日分

3 失業の認定を受けようとする期間中に、求職活動をしましたか。

ア 求職活動をした

(1) 求職活動をどのような方法で行いましたか。

求職活動の方法	活動日	利用した機関の名称	求職活動の内容
（ア）公共職業安定所又は地方運輸局による職業相談、職業紹介等 （イ）職業紹介事業者による職業相談、職業紹介等 （ウ）派遣元事業主による派遣就業相談等 （エ）公的機関等による職業相談、職業紹介等	9/25	ハローワーク○○	職業紹介　（株）○○製作所 9/26　面接 9/28　採用内定通知あり

前回認定日以降の求職活動内容を記入してください。

(2) (1)の求職活動以外で、事業所の求人に応募したことがある場合には、下欄に記載してください。

事業所名、部署	応募日	応募方法	職種	応募したきっかけ	応募の結果
（電話番号　）				（ア）知人の紹介 （イ）新聞広告 （ウ）就職情報誌 （エ）インターネット （オ）その他	
（電話番号				（ア）知人の紹介 （イ）新聞広告	

４欄は、イ及び（ウ）に○印を付けください。
５欄は、就職日及び就職先事業所について記入してください。

イ　求職活動をしなかった　（その理由を具体的に記載

4 今、公共職業安定所又は地方運輸局から自分に適した仕事が紹介されれば、すぐに応じられますか。

ア　応じられる
イ　応じられない

イに○印をした人は、すぐに応じられない理由を第２面の注意の８の中から選んで、その記号を○で囲んでください。

（ア）　（イ）　（ウ）　（エ）　（オ）

5 就職もしくは自営した人又はその予定のある人が記入してください。

ア　就職
イ　自営

（1）公共職業安定所又は地方運輸局紹介
（2）地方公共団体又は職業紹介事業者紹介
（3）自己就職

10 月 1 日より就職（予定）
月　日より自営業開始（予定）

（就職先事業所）
事業所名（　（株）○○製作所　）
所在地（〒957-0000　新発田市○○町○－○－○　）
電話番号（　0254-000-0000　）

雇用保険法施行規則第２２条第１項の規定により上記の通り申告します。

令和 ○ 年 9 月 30 日
（この申告書を提出する日）

受給資格者氏名　○ ○　○ ○
（　00-000000-0　）

就職経路がハローワーク紹介以外の場合、採用証明書（受給資格者のしおり５３ページ）等の提出が必要となります。

※公共職業安定所又は地方運輸局記載欄	1. 支給番号			年月日	年　月　日
	4. 支給期間	（初日）年	3. いによる収入	日　円	6. 基本手当支給日数　日
	7. 就業手当支給日数	日	8. 就業手当に相当する特別給付支給日数	日	9. 就職年月日－経路　年　月　日

次回認定日・時間	認定対象期間　月　日～　月　日	※連絡事項	
10 月 16 日	備考	取扱者印	操作者印